

令和 7年 3月 5日

足立区立古千谷小学校
校長 吉川 浩司 様

足立区立古千谷小学校 開かれた学校づくり協議会
緑川 勝彦

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

学習成果も向上しているようで、子どもたちの頑張りとそれを指導する先生方の努力が見受けられる。今はPCの利用は日常的で、学習の中でも有効に使われていることが分かる。授業中の様子も比較的落ち着いている様子であるが、児童の学習への自己評価で消極的な子もいるので、手助けをしてあげてほしい。しかし、全体的には素直で元気な子が多いので、さらに子どもたちにとって良い影響を与える機会（地域フェスや夏祭りなど）の設定を続けていきたい。

家庭とのつながりも、ほとんどの面において肯定的回答が8割以上でよいと思える。しかし今は、保護者の中にも常識や規範意識について逸脱する例も見られ、対応に苦慮すると思われるが、先生方の健康維持にはくれぐれも気を付けてほしい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

教員のなり手不足と同時に教員の力不足がよく言われている。本校も、新採教員や若手の先生方が多いが、みんな頑張っているように見える。ベテラン層の先生は、昔のように自分のペースでやれる時代ではなく大変だと思うが、未来の日本を背負う子どもたちへの教育のために、管理職をはじめとした先輩教師の皆さんにしっかりと人材育成を施してほしい。

保護者の問題は、様々で経済的問題や家族構成などそれぞれの子どもが背負う背景が多様化していて対応も大変だと思う。この町会は、昔からの住人と新しく来られた若い世代との良い関係をつくれるように努力しているので、学校でもPTA活動等に関われるような状況の構築を臨む。

3 その他

次年度は創立50周年を迎えるので、町会と学校で機運を高めていきたい。